

強者の戦略

2019年度 東大地理 第3問〔問題編〕

設問Aでは東日本大震災が出題され、設問Bでは5つの半島の説明文から出題されました。受験生の虚を突く出題だったので、本番で苦しんだ受験生がかなり多かったと思われます。では、今の力でどれだけ太刀打ちできるのか、この1週間で頑張ってみてください。

【2019年度 東京大学 文科前期 第3問】

日本の産業と国土に関する以下の設問A～Bに答えなさい。解答は、解答用紙の(ハ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問 A

表3-1は2010年と2015年について、それぞれの都道府県における6つの産業分類の就業者比率を都道府県別に示したものである。この表をみて、以下の問いに答えなさい。

- (1) 近年、知識経済化・情報社会化の進展が加速しているが、このことによって全国レベルでどのような地域的変化が生じていくと考えられるか。そのように判断した理由とあわせて2行以内で述べなさい。
- (2) 医療、福祉の就業者比率が高い都道府県にはどのような特徴があると考えられるか。2つの点をあげ、あわせて2行以内で述べなさい。
- (3) 東日本大震災(2011年)前後で被災地の産業構造はどのように変化したか。表から読み取れることを、変化の理由とあわせて2行以内で述べなさい。
- (4) 北海道と沖縄県にはどのような共通した経済的特徴があると考えられるか。2行以内で述べなさい。

強者の戦略

表 3—1

2010 年

	宿泊業, 飲食サービス業	製造業	情報通信業	学術研究, 専門・技術サービス業	医療, 福祉	建設業
北海道	6.2	8.1	1.6	2.6	11.6	8.9
福島県	5.5	20.1	0.9	2.0	10.2	9.0
東京都	6.1	9.8	7.0	5.2	8.0	5.4
滋賀県	5.2	26.5	1.2	2.7	9.8	6.2
大阪府	5.9	15.9	2.7	3.2	10.6	6.8
高知県	6.0	8.6	1.1	2.2	14.9	8.3
沖縄県	8.1	4.8	2.0	2.8	12.1	9.2

単位：％

2015 年

	宿泊業, 飲食サービス業	製造業	情報通信業	学術研究, 専門・技術サービス業	医療, 福祉	建設業
北海道	6.0	8.4	1.7	2.6	13.4	8.4
福島県	5.1	18.5	0.9	2.4	11.2	10.8
東京都	5.7	10.1	7.6	5.6	9.2	5.2
滋賀県	5.2	26.7	1.2	2.6	11.6	5.9
大阪府	5.6	15.7	2.8	3.2	12.1	6.5
高知県	5.7	8.4	1.1	2.4	16.8	8.1
沖縄県	7.8	4.9	2.2	2.9	13.9	8.9

単位：％

国勢調査による。

強者の戦略

設問 B

次の文は、日本の 5 つの半島について、それぞれの特徴を説明したものである。以下の問いに答えなさい。

A 半島

この半島では、大手水産会社が手がける遠洋漁業の拠点が置かれ、ダイコンなどの畑作物の栽培が盛んであった。高度成長期に大都市の通勤圏が外側に拡大するなかで、住宅地開発が盛んに進められた。しかしながら、現在は、高齢化が進み、人口の減少が大きな問題となっている。

B 半島

この半島は、リアス式海岸で知られ、第 2 次世界大戦前から真珠の養殖が行われてきた。また、大都市圏に比較的近いために、私鉄会社が半島の先まで路線網を伸ばし、大都市圏から行楽客を多く集めてきた。外国の街並みなどを模したテーマパークが開発されたり、世界的に著名な高級ホテルが進出したりしている。

C 半島

この半島では、農業と漁業が中心産業であったが、1960 年代に大規模工業基地の建設が計画され、広大な用地の買収、土地の造成がなされた。しかしながら、1970 年代のオイルショックにより計画は頓挫した。その後、核燃料廃棄物関連の施設が立地しているものの、現在でも利用されないままの土地が少なくない。

D 半島

この半島には、国宝にも指定されている平安時代の大堂で知られる寺院をはじめ、歴史の古い寺院が多くある。最近では「昭和の町」として知られるまちづくりにより、観光客を集めている。かつては、海を挟んだ隣の県の農民が、ミカンの出作りをしたことでも知られるが、現在では休耕地も多くなっている。

E 半島

この半島では、平地は少ないが、棚田の風景は有名である。伝統産業として漆器産業が盛んであり、また 1970 年代には、農村労働力を求めて、繊維関係の工場が多く進出した。しかしながら、合繊不況により、繊維の工場は多くが閉鎖されている。従来から水産業、観光業が盛んであったが、最近ではその内容が大きく変わってきている。

強者の戦略

(1) A～Cの半島は、図3-1の①～⑦のいずれかである。該当する半島をA～○のように答えなさい。

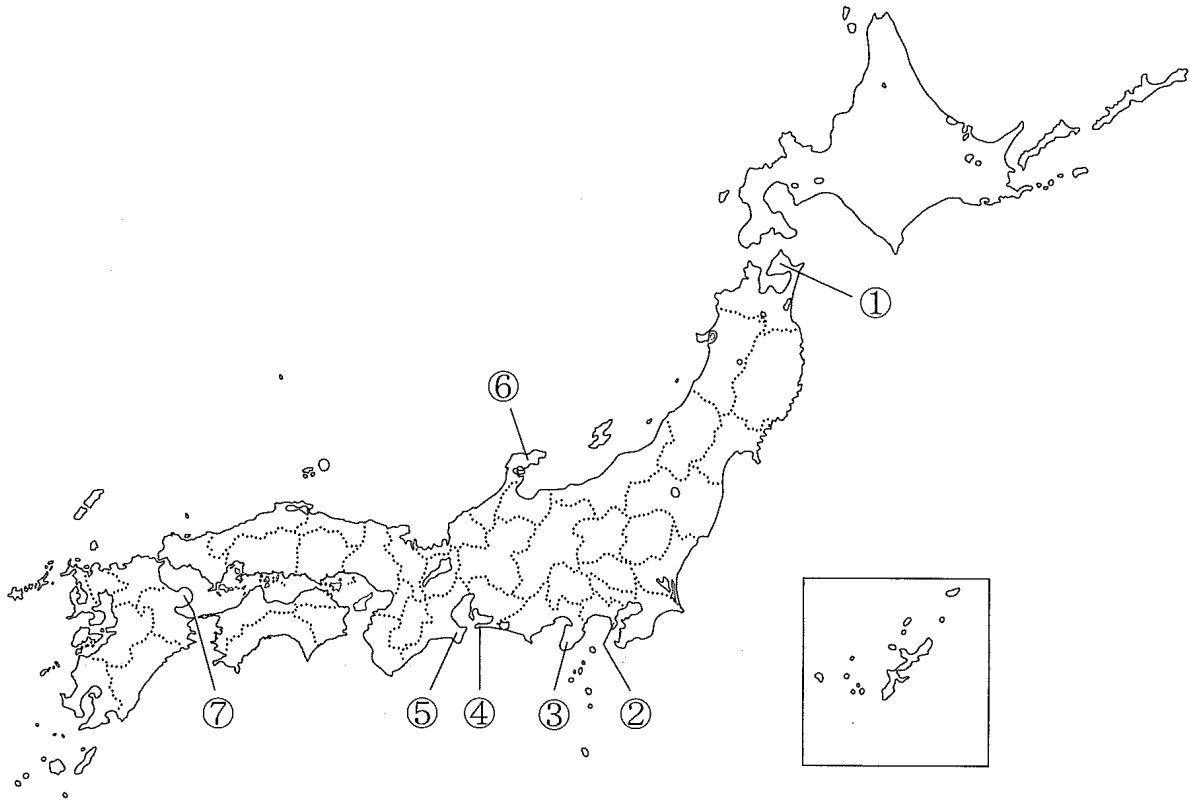


図3-1

(2) A半島の下線部で示したように、大都市圏に比較的近い半島で、高齢化や人口減少が進んでいる理由を1行以内で説明しなさい。

(3) 一般的に、半島は、条件不利地として捉えられることが多く、典型的な過疎地域として指摘されることが多い。しかしながら、D半島やE半島では、空港の整備によって、地域経済が大きく変わってきている。D半島、E半島でのそれぞれの地域経済の変化について、以下の用語を用いて、あわせて3行以内で説明しなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

外国人 グローバル化 ハイテク産業